

2023年度 併設校連携教育委員会(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACTION(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況(実施率)	C:目標と実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。	評価	A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
併設校説明会参加率の向上 併設高校3年生在籍の17-20%入学実績確保	在学生による大学の魅力発信 ・保護者向け説明会の実施 ・オープンキャンパスで併設校向け特別企画の実施 ・大学説明会への現役大学生(卒業生)の参加	80%	併設校大学説明会については、昨年に引き続き全学科にて大学生が登壇。併設高校の先生方のご協力により参加者数昨年度比約6%増となった。 入学者数は外部環境の影響及び併設校高校在籍者の少ない学年であることから苦戦し、3年生在籍の15%入学実績と目標を下回った。	・併設校大学説明会 全学科にて大学生、もしくは卒業生が参加。 今年度2年生参加114名(昨年104名)昨年比110% ・入学実績 26/175=15%	引き続き5月オープンキャンパスや11月の併設校大学説明会にて、併設校出身の在学生との交流を通じて、本学の教育内容の魅力発信する。 4月の併設校保護者会等でも、併設校出身の在学生の活躍を紹介することで、本学の教育内容の魅力発信していく。
高大接続の推進 新たな連携プログラムの企画・実施	高大接続教育の拡大 ・併設校以外の高校との教育連携の強化 ・協定校との高大連携教育プログラム実施 ・各学部教員・各教務グループとの新たな連携プログラムを策定・実施する ・単位認定プログラムの実施	90%	今年度埼玉県立富士見高校との包括連携協定を締結。併せて高大連携公開授業「オープンカレッジ」をスタートし、単位認定プログラムにも新規参加。 すでに協定を締結している千早高校とは経営学部を中心に授業サポートを実施。神田女学園高校とは探究サポート実施の他、外国語学部・児童発達学科で体験授業を実施した。 他、東洋女子高校、赤羽北校高校、昭和第一高校との連携に向けて協議中。	・高大接続協定1校(埼玉県立富士見高校) ・単位認定プログラム実施 ・千早高校授業サポート実施 ・神田女学園高校体験授業、探究サポート実施	今年度よりスタートした高大連携公開授業「オープンカレッジ」を引き続き次年度も実施予定。 また、現在連携に向けて協議中の高校と次年度、新たに協定を締結することを目指す。

2024年度 併設校連携教育委員会

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
併設校説明会参加率の向上 併設高校3年生在籍の17-20%入学実績確保
高大接続の推進 新たな連携プログラムの企画・実施